

家政技術分類表の作成とその構成と構造について(1)

東京農大 吉村典夫、加藤みゆき、大妻女大家政、大竹智恵子、大森正司
岡田安代、安田順子、岐阜大教育、長野宏子 大妻高校 吉田レヅ子

目的 家政学のうち主要な分野である、家政技術の構成と構造を解明するための分類表を作成することを目的とする。演者らは先に、家政学雑誌に発表された論文の課題を、科学技術分類表 Classification of Science Technology (CST) を用いて分析し、研究の変遷と、研究課題で示される家政技術における要素技術建関について研究報告を行、た。この研究の結果 CST は、その構造は家政技術の分析に用いるのに適当であるが、その構成には多くの欠点が見出されたので、新たな分類表作成に関する研究を行、た。

方法 CST と同じ構造であり、その構成を変更して作成された、技術適用の対象と結果、適用の条件および技術を区分した構成を持つ農業技術主題分類表 Agricultural Subject Indexing Code (ASIC) に、さきの研究結果にもとづいて検討を加え、生活技術をひとつの大項目とし、生活に直接関連するものをあうわす中項目、およびこれに伴う各項目について所要の変更を加えた。

結果 家政技術分類表 Classification of Home Economics (CHE) は、多観点事後組合せ方式十進数形式の4ケタの分類表である。大項目は、場所・条件、技術の対象と結果、生活技術、生物科学、生物技術、社会技術、物質科学、物質技術およびエネルギーと情報の技術である。演者らは、CHE を家政技術に関する研究課題の分析に試用して同分類表の構成に所要の改変を加え、家政技術については家政学の構造・構成解析により適切な分類表を作成すべく、研究を継続中である。